|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| 第16回「運動と振動の制御」講演論文テンプレート  Template for MoViC 2019 | |
| ○正　機械　太郎（機械大），学　振動　次郎（振動大），制御　三郎（制御大）  Taro KIKAI, Kikai University, ○-○-○, Shinjuku, Tokyo 160-0016  Jiro SHINDOU, Shindou University, △-△-△, Shinjuku, Tokyo 160-0016  Saburo SEIGYO, Seigyo University, ×-×-×, Shinjuku, Tokyo 160-0016 | |

Abstract: Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract. Abstract.

|  |
| --- |
| Key Words: Motion, Vibration, Control, Symposium, Proceedings. |

FIGURE

Fig. 1 Sample figure title.

１．タイトルページ

　原稿の最初のページを作成する際は，文字の大きさ，フォントの種類，文字をタイプする位置をおおむね見本のとおりとしてください．なお，このテンプレートでは題目や著者名などの書式が予め設定されていますので，各項目を適宜，追記修正して入力を行ってください．

1-1 論文題目論文題目を14ポイントのゴシックフォントでご記入下さい．他のワープロを使用される場合は，タイトルページの右上端にこの見本通りのヘッダーを各自ご記入ください．

1-2 英文題目　英文題目は日本語題目の直下に，Arial 12ポイントでご記入下さい．

1-3 日本語著者名著者名の前に学会会員資格（正，准，学）を記入して下さい．著者が複数の場合，講演者の会員資格の前に○印をつけてください．所属先は略称で構いません．著者が一行に入らない場合は適宜行数を増やしてください．

1-4 英文著者名　著者全員分の英文氏名と所属先，住所を1人につき一行ずつでご記入下さい．

1-5 英文要旨　英文要旨を100～150語程度でご記入ください．

1-6 キーワード 英文キーワードを5語程度，ご記入下さい．

２．本文

　段落の先頭に空白を一文字入れてください．フォントは9ポイント明朝体（英数字はTimes）をご使用下さい．

　本文は2段組で作成してください．ページの左右の余白は15 mm，段の間隔を10 mm，上下の余白を25 mmとして下さい．2ページ目以降はページの先頭から2段組となるようにしてください．

2-1 見出し　「１．タイトルページ」，「２．本文」のように大見出しをつける場合は前の段落との間に空白行を入れて下さい．フォントは全角の明朝体です．1-1，1-2（半角Arial）のように中見出しをつける場合は前の段落との間にスペースを入れる必要はありません．中見出しに続く本文は先頭に空白を入れるだけで改行せずに開始してください．

３．図・表，参考文献

　図表のタイトルおよび図中の説明文，表の文字は英文表記です．図を縮小して用いる場合は，図中の文字が小さくなり過ぎないようにご注意下さい．表のタイトルは表の上部に，図のタイトルは図の下部に表記し，本文と図表の間に十分な空白を設けてください（図1参照）．

　本文中で引用された文献(1-2)の一覧を文章の最後に記入してください．原則として参照の順序に番号を振り，著者，論文名，出典，年号をご記入ください．スペースに余裕がない場合は共著者と論文題目は省略しても構いません．

４．目安となる設定

　このテンプレートはMicrosoft Wordを標準に作成されています．1ページ目のタイトル，著者，アブストラクト，キーワードの部分は行ごとに書式が異なるために表で作成してあります．論文題目の長さや共著者の数によってはバランスが悪くなる場合がありますので，適宜変更して使用してください．

　目安となる設定は以下のとおりです：

・マージンは上下20 mm，左右15 mm

・2段組，段の間隔は10 mm

・タイトル，著者，見出しはゴシック体**（**英文の場合はArial）

・本文は明朝体（英文の場合はTimes New Roman）

参考文献

1. 東京太郎，講演論文の書き方，機誌，0-00 (2014), 1-2.
2. Katsushika, H.S. et al., How to write proceedings paper, Int. J. Mech. Eng., 777 (1849), 5-10.